

編集後記

土工特集は、2009年3月号以来4年半ぶりとなります。その間に世の中は大変動に見舞われ、民主党政権樹立による政策転換があり、建設業界にも大波乱がありました。また、東日本大震災、原発事故と未曾有の大災害にも見舞われ、その復旧・復興事業に追われています。明るい話題としては、ハヤブサ帰還やなでしこジャパンのW杯優勝、山中教授のノーベル賞受賞等があり、国民的感動と興奮が列島を包みみました。

土工関係では、道路土工指針が改定され、土工機械の排出ガス対策や情報化施工も大きく推進されました。また、世界的には中国の台頭と資源開発ブームの波が建機マーケットを襲い、グローバルアライアンスを更に推し進めています。テレックスが鉱山部門を身売りし、それを買取したビサイラスをすぐさまCATが吸収するという激震があり、マイニング用超大型建機のブランドが幾つか消滅してしまいました。

さて、今月号の巻頭言は建山教授にICTを導入した土工の現況を「進化する土工」と題して要約して頂き、行政情報では、建設ロボット技術に関する懇談会の提言と経産省における公共・防災ロボット等の施策を執筆頂き、情報化・無人化・自動化・ロボット化等に関する国の方向性を示して頂きました。

無人化施工については、当初の雲仙普賢岳復旧工事以来、無人化施工に従事している吉田氏に技術的総括を、作業効率に関するフィールド実験結果を土研の方々に報告頂きました。また、東日本大震災復旧工事で活躍し、無人化の嚆矢でもある水陸両用ブルの災害復旧工事事例とそのオーバホールの苦労話（ずいそう）も載せることができました。

土工で重要な締めめの情報化に関しては、NEXCOで規定化されたローラ加速度応答法と「岩塊盛土の今昔」の中で執筆頂きました。自動化技術では、重掘削が可能なドーピング自動制御の報文が注目です。その他にも新方式の油圧ハイブリッドシステムや新しい振動機構をもつエキセントリックリッパ、国産最大のAC駆動290tRDTの開発等、トピック的な話題を取り上げることができました。また、国内では生産中止になったが、老骨に鞭打ち頑張っているスクレーパードーザの記録を残すため、その開発略史と近況を掲載しました。交流の広場は自律型模型飛行機による航空写真測量の紹介です。

最後となりましたが、本誌の編集に当たっては、機械土工に関して我が国を代表する諸機関や泰斗の方々にご執筆をお願い致しました。ご多忙中にもかかわらず、快くご執筆を引き受けて下さいました皆様、心より御礼を申し上げます。

(岡本・原)

機関誌編集委員会

編集顧問

| | |
|-------|-------|
| 今岡 亮司 | 加納研之助 |
| 桑垣 悦夫 | 後藤 勇 |
| 佐野 正道 | 新開 節治 |
| 関 克己 | 高田 邦彦 |
| 田中 康之 | 塚原 重美 |
| 中岡 智信 | 中島 英輔 |
| 橋元 和男 | 本田 宜史 |
| 渡邊 和夫 | |

編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

編集委員

| | |
|-------|----------------|
| 吉田 潔 | 国土交通省 |
| 持山 昌知 | 農林水産省 |
| 伊藤 健一 | (独)鉄道・運輸機構 |
| 篠原 望 | 鹿島建設(株) |
| 立石 洋二 | 大成建設(株) |
| 藤吉 卓也 | 清水建設(株) |
| 赤井 亮太 | (株)大林組 |
| 久保 隆道 | (株)竹中工務店 |
| 安川 良博 | (株)熊谷組 |
| 川西 健之 | (株)奥村組 |
| 京免 継彦 | 佐藤工業(株) |
| 岡田 英明 | 五洋建設(株) |
| 齋藤 琢 | 東亜建設工業(株) |
| 赤神 元英 | 日本国土開発(株) |
| 相田 尚 | (株)NIPPO |
| 岡本 直樹 | 山崎建設(株) |
| 原 茂宏 | コマツ |
| 山本 茂太 | キャタピラー・ジャパン(株) |
| 船原三佐夫 | 日立建機(株) |
| 原口 宏 | コベルコ建機(株) |
| 石倉 武久 | 住友建機(株) |
| 和田 一知 | (株)KCM |
| 江本 平 | 範多機械(株) |
| 藤島 崇 | 施工技術総合研究所 |

事務局

建設機械施工協会

10月号「都市環境の整備向上、都市基盤整備特集」予告

- ・都市の低炭素化の促進に関する法律 エコまち法
- ・木密地域不燃化10年プロジェクト及び不燃化特区制度の概要
- ・航空機荷重に対応した供用トンネルの補強 成田国際空港 木の根トンネル補強工事
- ・阪神高速道路における鋼床版I桁の連続化工事
- ・短期集中工事期間内に高速道路を1支承線化し連結
- ・高強度PRC版を用いた道路修繕工事
- ・都市部における大規模掘削工事の「見える化」施工
- ・鉄道営業線開削トンネルにおける既設構造物の撤去
- ・東京地下鉄有楽町線小竹向原・千川間連絡線設置工事 向原工区
- ・列車運行時間帯における立体交差工事の施工
- ・高崎線補川・北本間二ツ家道橋新設工事で地盤切削JES工法を施工
- ・ヒートアイランド対策の超保水性インターロッキングブロック
- ・高い保水機能を有するレインボーエコロブロック Bizの効果実証
- ・都市土木における環境負荷低減対策
- ・東急東横線渋谷駅～代官山駅間地下化切替工事 線路直下地下切替工法「STRUM(ストラム)」
- ・久喜白岡ジャンクションCランプ第2橋の架設 大型多軸台車を用いた橋梁上からの一括架設
- ・並走するシールドトンネルを非開削で一本化 大橋連絡路
- ・川口市雨水排水設備、小土被り上下2段近接大口径推進

建設機械施工

Journal of JCMA

第65巻第9号(2013年9月号)(通巻763号)

Vol.65 No.9 September 2013

2013(平成25)年9月20日印刷

2013(平成25)年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 一般社団法人日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

| | | |
|-----------|----------------------------|-----------------|
| 施工技術総合研究所 | 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 | 電話(0545)35-0212 |
| 北海道支 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8 | 電話(011)231-4428 |
| 東北支 | 〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1 | 電話(022)222-3915 |
| 北陸支 | 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 | 電話(025)280-0128 |
| 中部支 | 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10 | 電話(052)962-2394 |
| 関西支 | 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4 | 電話(06)6941-8845 |
| 中国支 | 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 | 電話(082)221-6841 |
| 四国支 | 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 | 電話(087)821-8074 |
| 九州支 | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30 | 電話(092)436-3322 |

本誌上へ(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp

担当 本社編集部 宗像 敏